

## 米国イノベーション・ファンド (年4回決算型)

(愛称) **アメリカン・アイドル (年4回)**

追加型投信／海外／株式

第11期 2018年10月22日決算 第12期 2019年1月21日決算  
作成対象期間 (2018年7月21日～2019年1月21日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国イノベーション・ファンド (年4回決算型) (愛称：アメリカン・アイドル (年4回))」は、このたび、第11期および第12期の決算を行いました。

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

大和住銀投信投資顧問株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となる予定です。

第12期末 (2019年1月21日)	
基準価額	9,163円
純資産総額	2,744百万円
第11期～第12期	
騰落率	△13.9%
分配金合計	0円

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力\*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス  
<https://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：(電話番号) 0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで(土、日、祝日除く。)

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

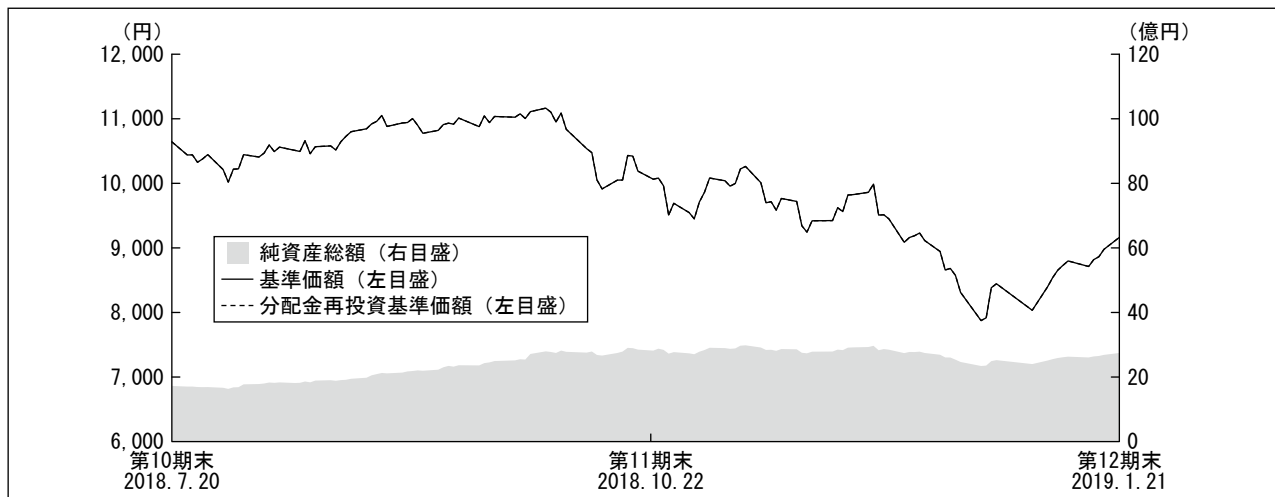


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第11期首：10,642円

第12期末：9,163円（作成対象期間における期中分配金合計額 0円）

騰落率：△13.9%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資を行いました。

（上昇要因）

当作成期は、送金事業が大きく伸びているユーロネット・ワールドワイド、事業を展開するブラジルで、市場機能を重視する経済政策を掲げるボルソナロ氏が大統領選挙で勝利したことが好感されたアズール、血糖値モニターの利用者が大幅に増加したデクスコム、傘下のオンライン・サイト「match.com」や「Angie's List」が順調なIAC/インタラクティブ等が上昇し、プラスに寄与しました。

（下落要因）

当作成期は、テクノロジーやバイオ・セクターの高成長株が売られる中、ファンダメンタルズ（基礎的条件）に特段の変化はないにもかかわらず、リガンド・ファーマシューティカルズ、新店舗コストの上昇等が嫌気されたアット・ホーム・グループ、悪性高熱症治療薬「Ryanodex」の臨床試験において登録患者数が計画を大幅に下回ったイーグル・ファーマシューティカルズ、オーストラリアのスキー場が主な収益源となる2018年8-10月期の売上が為替の影響等により前年同期比で減少したペイル・リゾーツ等が下落し、マイナスに作用しました。為替相場では円高ドル安が進行したことが下落要因となりました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	第11期～第12期		項目の概要
	2018年7月21日～2019年1月21日		
	金額	比率	
信託報酬	112円	1.122%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,999円です。
（投信会社）	（68）	（0.684）	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	（41）	（0.411）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（3）	（0.027）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	6	0.056	売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数
（株式）	（6）	（0.056）	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数
（株式）	（0）	（0.001）	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	11	0.107	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	（10）	（0.100）	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（1）	（0.007）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（0）	（0.001）	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	129	1.285	

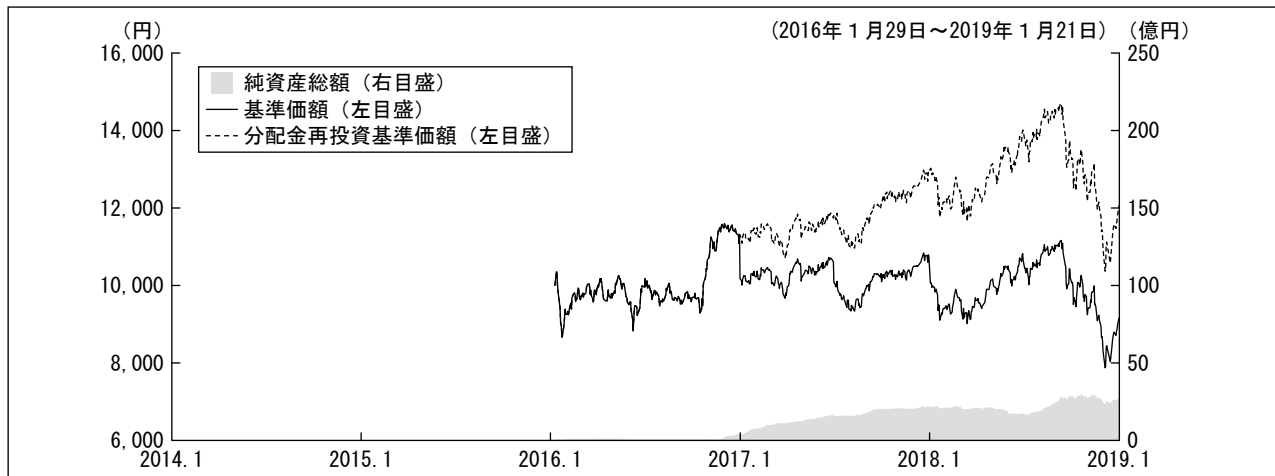
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日（2016年1月29日）より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年1月29日 設定日	2017年1月20日 決算日	2018年1月22日 決算日	2019年1月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,180	10,069	9,163
期間分配金合計（税込み） (円)	—	1,100	1,600	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.8	15.4	△ 7.3
Russell 2500 グロス・インデックス （配当込み、円換算）騰落率 (%)	—	21.1	24.7	△ 4.3
純資産総額 (百万円)	60	372	2,114	2,744

\*Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、円換算）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

### ●参考指数に関して

\*Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、円換算）とは、Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算したものです。

\*ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは運用管理の対象とはなりません。また、インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。

\*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 【投資環境】

当作成期の米国株式市場は、下落しました。作成期初は米中貿易摩擦等が相場の重石となったものの、堅調な米国景気や企業業績が下支えとなり、上昇基調で推移しました。しかし、2018年10月に米中関係の悪化や地政学リスクが懸念され米国株は全面安となり、特に中小型株からの資金流出が顕著となりました。そして12月に、FOMC（米連邦公開市場委員会）で2018年中で4回目の追加利上げが決定され、今後の追加利上げにも消極的な姿勢を示さなかったことから、大きく下値を切り下げました。2019年に入ると、米金融当局者のハト派的な発言が好感されたことや、米中通商交渉が行われ貿易摩擦の解決に向けて期待が高まり上昇に転じ、作成期を終えました。

## 【ポートフォリオ】

### ■米国イノベーション・ファンド（年4回決算型）

主要投資対象である米国イノベーション・マザーファンドを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の実質的な株式組入比率は97.3%としました。

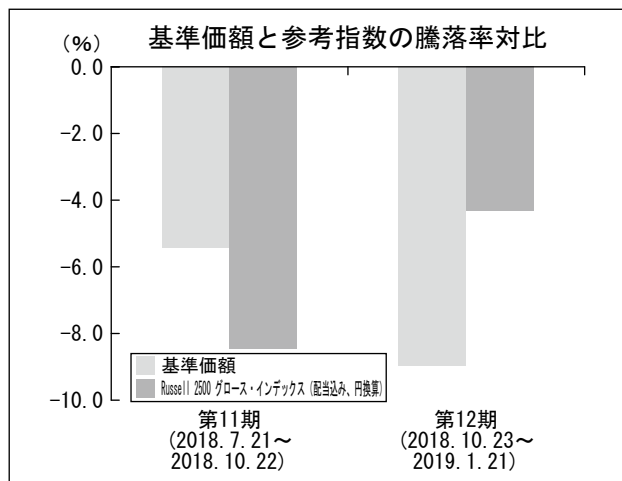
### ■米国イノベーション・マザーファンド

当作成期の騰落率は、△12.8%となりました。

当作成期は、フロリダ州やテキサス州で積極的に競合企業を買収し事業を拡大しているファーストキャッシュ、遠隔医療の普及に伴い飛躍的な業績成長が予想されるテラドック・ヘルス等を新規に組み入れました。一方、時価総額が拡大し当ファンドの投資対象からはずれたルルレモン・アスレティカ、レンタル需要低下により想定した業績成長を実現するには時間を要すると考えたハーク・ホールディングス、開発中の乳がん治療薬が先行薬と比べて優位性を示さず上市の可能性が低下したイーグル・ファーマシューティカルズ等を売却しました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせて頂きました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第11期	第12期
	2018年7月21日 ～2018年10月22日	2018年10月23日 ～2019年1月21日
当期分配金 (円)	0	0
(対基準価額比率) (%)	0.00	0.00
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	593	594

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■米国イノベーション・ファンド（年4回決算型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■米国イノベーション・マザーファンド

足元の米国株式市場の調整を受けて、中小型成長株のバリュエーション（投資価値評価）は非常に割安な状態となっています。2019年も金融政策や政治動向による向かい風は予想されますが、イノベーションで新たな市場を開拓する中小型成長企業は、マクロ要因とは関係なく業績を伸ばせる余地が大きいでしょう。したがって、個別企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）と基本的に関係のない理由で株価が値下がりする2018年12月のような局面は、絶好の投資チャンスと考えています。特に、自動運転等の普及に伴い中長期的に製品需要の増加が見込まれるにもかかわらず、米中貿易摩擦等が懸念され株価が大幅に下落した半導体関連株に注目しています。

## お知らせ

該当事項はございません。

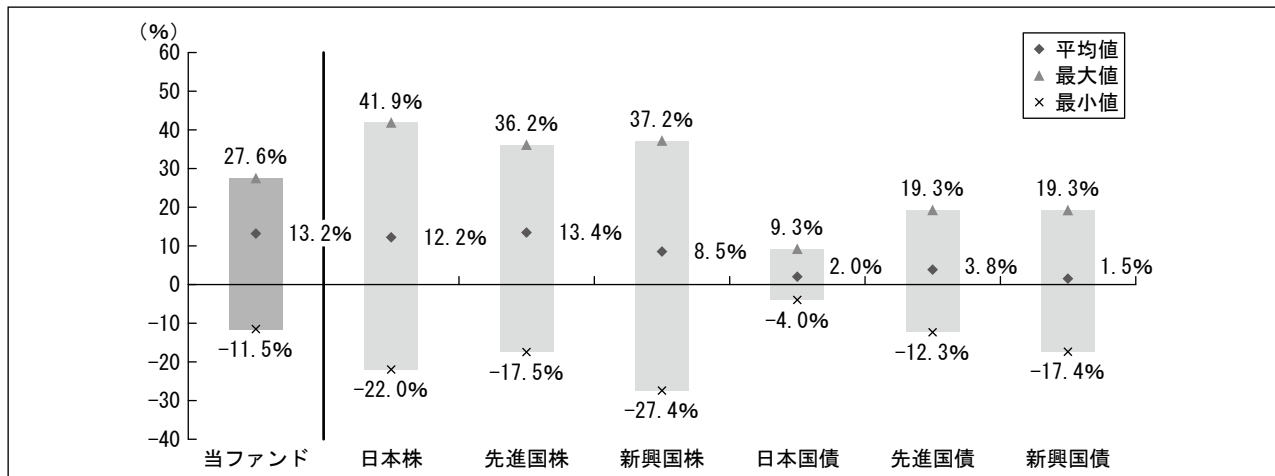
## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2016年1月29日～2026年1月20日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	米国イノベーション・マザーファンド受益証券
	米国イノベーション・マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する中小型株
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用はファミリーファンド方式で行います。</li> <li>・ボトムアップアプローチによる企業調査や業界分析などから、革新的な技術やビジネスモデルを有し、高い成長が期待できる銘柄を厳選して投資します。</li> <li>・原則として、為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年1月、4月、7月、10月の20日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	



## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2017年1月～2018年12月  
代表的な資産クラス：2014年1月～2018年12月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

（注）上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## 当該投資信託のデータ

### 《当該投資信託の組入資産の内容》

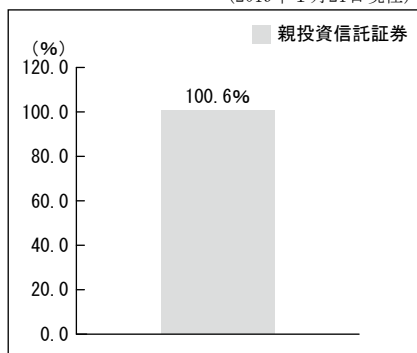
#### 【組入ファンド】

	第12期末（2019年1月21日）
	組入比率
米国イノベーション・マザーファンド	100.6%

\*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### 【資産別配分】

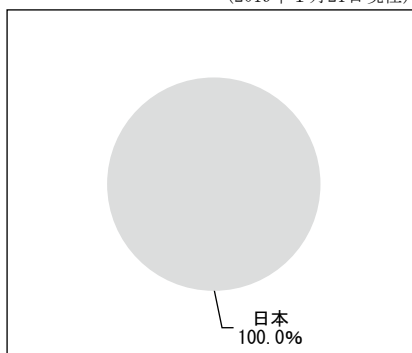
(2019年1月21日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

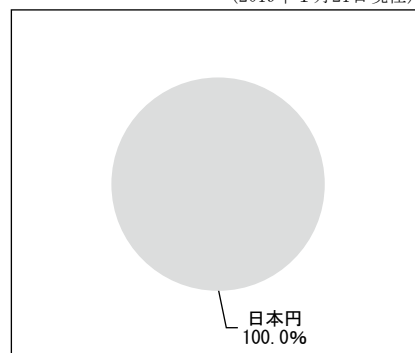
(2019年1月21日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2019年1月21日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【純資産等】

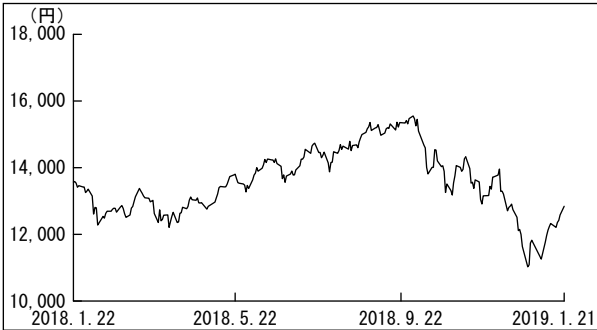
項目	第11期末	第12期末
	2018年10月22日	2019年1月21日
純資産総額	2,817,804,631円	2,744,421,845円
受益権総口数	2,800,017,263口	2,995,104,356口
1万口当り基準価額	10,064円	9,163円

\*当作成期間中における追加設定元本額は2,037,986,442円、同解約元本額は662,245,952円です。

## 《組入ファンドの概要》

### ■米国イノベーション・マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当りの費用明細】

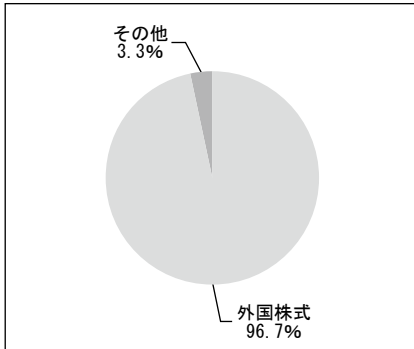
(2018年1月23日～2019年1月21日)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	15円 (15)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	25 (25) (0)
合計	40

\*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。  
\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

#### 【資産別配分】

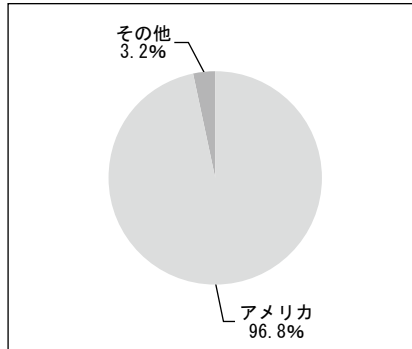
(2019年1月21日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

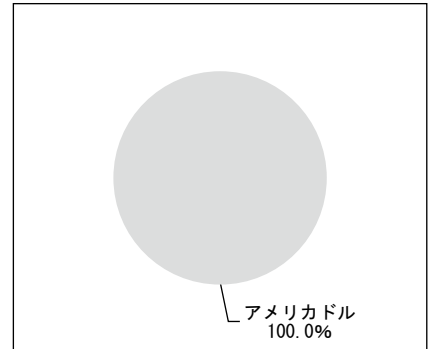
(2019年1月21日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2019年1月21日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【組入上位銘柄】

(2019年1月21日現在)

順位	銘柄名	国名	業種名	比率
1	EURONET WORLDWIDE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9%
2	RINGCENTRAL INC-CLASS A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.8%
3	BLACK KNIGHT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5%
4	ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5%
5	LIGAND PHARMACEUTICALS	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.3%
6	IAC/INTERACTIVECORP	アメリカ	メディア・娯楽	2.2%
7	COOPER COS INC/THE	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.2%
8	NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.2%
9	SIMPLY GOOD FOODS CO/THE	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.2%
10	GREEN DOT CORP-CLASS A	アメリカ	各種金融	2.1%

(組入銘柄数 59銘柄)

\*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



# 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments